

様式1(主な取組)

活動指標名	かりゆし長寿大学校卒業生数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	190	190	189	0	0	180	0.0%	49,016	未着手	令和3年度はかりゆし長寿大学校入学生96名を予定していたが、コロナの影響により休校となった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										卒業生数は、コロナの影響により休校となったため計画値180人に対し、実績値は0人となった。対応として、入学予定者等を対象にオンライン特別公開講座を4回実施し(受講者数386名)、うち、1回は国頭村、大宜味村及び東村とのオンライン講義を実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における高齢者の社会参加促進事業に関する情報や卒業生からアンケート等を収集し、効果的な事業の運営に繋げていく。 ・市町村自治体・社協と連携し、オンラインによる講座の配信を検討する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスにより休校 ・入学予定者の他、国頭、大宜味及び東村民を対象としたオンライン特別公開講座を実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 沖縄県かりゆし長寿大学校の運営に係る事業に関しては、地域の担い手を養成する場としての役割が期待されているが、卒業後の活動を把握できていない。
- ・ 市町村や地域の事業として市民大学等を設置していたり、高齢者の生きがいに資する活動が行われていたり、また応募者も地域に偏りがあるため、県の委託事業としての役割を見直す時期である。

○外部環境の変化

- ・ 直近3年の応募者数に関しては減少傾向にあり、特に男性については、定年延長や再雇用促進等により65歳以上の男性の就業率が増加傾向であることなどが遠因となり定員割れしている状況である。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりR2~R3の2年間休校となった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 卒業生の地域活動状況を把握し、事業の意義を明確化させる必要がある。
- ・ 県内全域で高齢者を対象とした学習の場の提供や地域活動の担い手養成を図るため、効果的な実施の方法を検討する必要がある。
- ・ 応募者数の増加を図るため、卒業生のアンケート等を参考に、専門課程等の見直しを行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 卒業生の地域活動などの参画状況調査を検討する。
- ・ 高齢者自身が住む身近な市町村や地域で生きがいに資する活動が行われていること、応募者の地域の偏りなどを踏まえて、県の委託事業として、オンラインを活用し遠隔地でも学習できるよう市町村や社協と連携し、効果的な実施の方法を検討する。
- ・ 老後の生活への不満が高まる中、収入を得る方法(投資など)や就業支援を中心とした専門課程の導入等を検討する。

様式1(主な取組)

活動指標名	単位老人クラブや市町村老人クラブ連合会の老人クラブ活動への助成				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
					助成実施	—	100.0%	17,536	順調	市町村を通じて適正老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会の活動への助成を実施した。(557適正老人クラブ、36市町村老人クラブ連合会)
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 老人クラブ活動を支援することによって、地域コミュニティの維持を図るとともに、高齢者の社会参加活動が促進され、心身ともに健康な高齢者の生活基盤づくりに資することができた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			

(2)これまでの改善案の反映状況

令和3年度 of 取組改善案	反映状況									
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、会員数増があった老人クラブを地区老人クラブ大会において表彰し、会員数増への取組を支援するとともに、沖縄県老人クラブ連合会では会員増につながる活発な会活動の事例を収集し、沖縄県全体において、令和5年度までに会員1万人増(会員数65,000人)を目標として会員増強運動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため老人クラブ大会が中止となったことから、好取組の老人クラブに対して県老連より伝達表彰を行った。 60歳以上高齢者の老人クラブ加入率の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄県</td> <td>13.0%</td> <td>→ 12.3%</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>11.5%</td> <td>→ 10.8%</td> </tr> </tbody> </table> 		R1	R2	沖縄県	13.0%	→ 12.3%	全国	11.5%	→ 10.8%
	R1	R2								
沖縄県	13.0%	→ 12.3%								
全国	11.5%	→ 10.8%								



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 渡名喜村、北大東村及び与那国町では当該補助を申請していないため、老人クラブ活動が不明となっている。

○外部環境の変化

・ 全国的にも会員数が減少傾向にあることが課題となっている。

・ 沖縄県老人クラブ連合会において、会員数増等があったクラブを地区老人クラブ大会にて表彰し、会員増への取組を支援しているが、60歳以上の就業率が増加傾向にあること、会長などの後継者不在や地域のつながりの希薄化などあつて、全国同様に本県の老人クラブの総数は減少している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 小規模離島の活動状況を把握する必要がある。

・ 会員は地域活動の担い手にもなっているため、沖縄県老人クラブ連合会や市町村老人クラブ連合会と連携して、老人クラブ等が抱える課題を把握し、課題に対する取組を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 推進母体である県老人クラブ連合会を中心に、老人クラブが抱える課題の情報収集を検討する。